埼玉県科学教育振興展覧会で 優良賞を受賞

10月26日(土)・27日(日)、さいたま市青少年宇宙科学館で第71回埼玉県科学教育振興展覧会中央展が行われ、玉川小学校から出品した2つの研究が優良賞を受賞しました。

1つ目の研究は、5年生杉田悠仁さんと新井りりあさんの研究で、題名は「発見!摩擦の力」です。滑り台で遊んでいたときの様子から、勢いよく滑るときと滑らないときの違いに疑問をもって研究を始めました。摩擦が自分たちの生活と大きく関わっていることを伝えてくれたもので、二人は「さらに摩擦について詳しく調べていきたい」と今後の目標について語ってくれました。

2つ目は、3年生杉田くるみさんの研究で、 題名は「チャレンジトマト」です。トマトの 成長について水やり等の条件を変えて研究し、 大きさや糖度を比較した研究結果などをまと



めました。杉田さんは、「日照時間なども条件に入れて研究を深めていきたい」と今後の目標について語ってくれました。3人の今後の活躍に期待が膨らみます。

賞状をもって笑顔をみせてくれた受賞者の3人。おめでとうございます。



中学生の「税についての作文」 優秀賞を受賞

関東信越国税局等(東松山税務署、東松山地区納税貯蓄組合連合会及び東松山地区租税教育推進協議会)が租税教育の一環として、管内の中学生に対して募集を行った中学生の「税についての作文」の表彰式が11月28日休に行われました。玉川中学校1名及び都幾川中学校1名の生徒の作品が優秀作品として選ばれ、玉川中学校には感謝状が贈られました。

おめでとうございます。



●ときがわ町長賞

「暮らしを豊かにするために」 新井愛莉さん(玉中3年:写真1列目左から2人目)

●東松山地区納税貯蓄組合連合会長賞

「税について」 西澤古都音さん(都幾中1年:写真1列目右から2人目)

●全国納税貯蓄組合連合会長感謝状

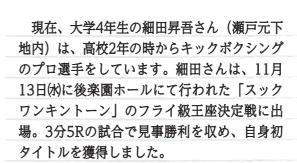
玉川中学校長 新井 克仁さん (写真2列目1番左)

受賞した生徒お2人には、表彰状・副賞と、ときがわ産材の賞状の額が贈呈されました。授賞式では 厳かな雰囲気の中、とても真剣な様子でしたが、記念写真では、にこやかな笑顔も見られ、和やかな 雰囲気となりました。

グラフときがわ

写真でときがわの「今」をお伝えする"グラフときがわ"。 珍しい情報や写真は、町広報担当(☎65-0401)まで お寄せください。

細田昇吾さんがフライ級王座! 5歳から始めたキックボクシング でタイトルを獲得



本紙平成28年12月号の「スポーツときがわNo42」では、目標を問われ「大学在学中にチャンピオンになること」と答えてくれた細田さん。見事に有言実行を果たしました。

細田さんは、東松山のジムに所属しており、 5歳から現在に至るまで、正月もお盆も関係な く、週に6日練習する日々を続けています。そ んな状況でも「自分で決めてやっていたこと だから」と胸を張ります。「会長には17年間 お世話になり、親のように面倒を見てもらっ ていました。最初にお礼が言いたいです」

細田さんが都幾川中学校の生徒だった当時、 校長だった久米教育長は、「中学の時から質 実剛健。目標をもってしっかりやるタイプ だった」と語ります。

「今はプロなので、応援してくれる人だけでなくお金を出してくれる人の思いも背負っている。アマチュアとは責任の重さが違うので、絶対に負けられない。」と決意を語る細田さん。今後は、「このベルトがあることで、やっと他の団体の王座と戦えるようになる。このベルトはより強い相手と聞うための通行手形に過ぎないです」と語ってくれました。

おめでとうございます。また、今後の活躍 を期待しております。



↑久米教育長(写真左)と細田さん(同右)





「応援者を探しています!」

今回、団体の王座となった細田さん。今後もプロ選手として活躍していくため、また、これから更なる強敵へ挑み、フライ級の王座を統一する目標を達成するため、応援者を探しているとのことです。得意技はローキックと右ストレート。お力になっていただける方は、細田さんのアドレスまでご連絡ください。

図shkickww64@gmail.com

